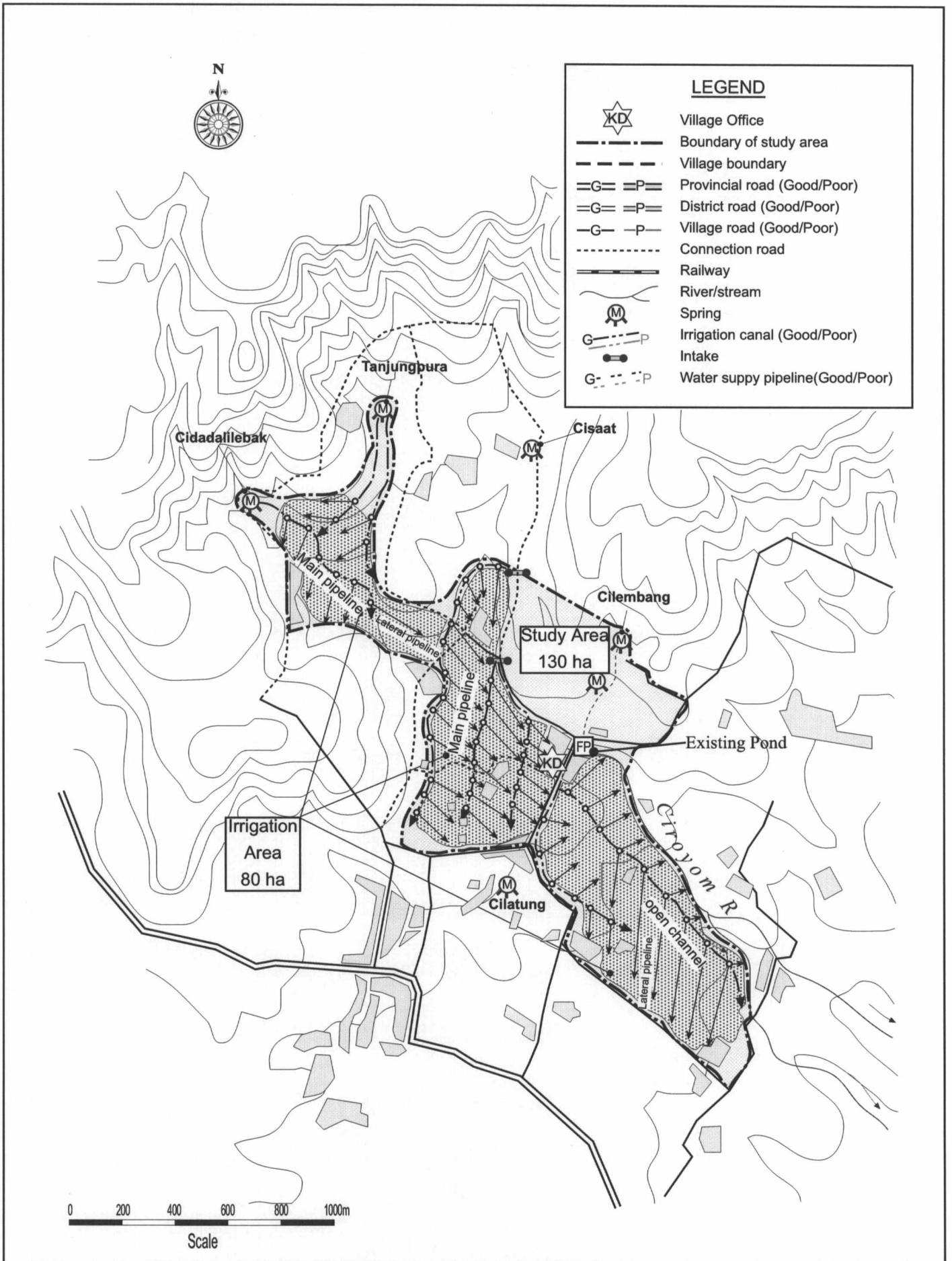


3.3.6 タンジュンカルヤ・モデル地区農業開発基本計画（PDM）

ターゲットグループ：タンジュンカルヤ・モデル地区農民（小作農を含む）

プロジェクト期間：5年

プロジェクトの要約	指標	指標への介入手段	外部条件
上位目標 モデル地区の開発モデルが西ジャワ州のハイランド地域に拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> 類似スキームの増加数 	<ul style="list-style-type: none"> 県及び郡の農業事務所 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国農業省の園芸作物振興政策に大幅な変更がない。
プロジェクト目標 野菜生産の安定化を通じて農民の所得及び生活水準が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 農家所得増加率（GDP デフレーターを用いて調整する。） 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトモニタリング活動における農家聞き取り調査 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国の経済状況が急激に変化しない。
成果 1. 野菜生産システムが改善する。 1-1 灌漑水が供給される。 1-2 野菜栽培技術に係る試験研究情報が入手される。 1-3 農民の野菜生産技術が改善する。 2. 野菜生産物の流通システムが改善する。 2-1 農民の集出荷活動が向上する。 2-2 市場ニーズに基づく作付け計画が策定される。 3. 農民組織の農業開発活動が活性化する。 3-1 農民グループが灌漑システムの中に再編成される。 3-2 野菜生産計画策定、村落施設維持管理、生産物販売、生産資材供給及び生産資金貸付けにおける農民組織の能力が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作付け率 品目別野菜単収量 生産資材投入量 野菜共同出荷量及び出荷価格 作付け体系の変化 農民協同組合・水利組合の登録組織員数及び登録日 計画作付け体系及び実際の作付け体系 農民金融利用者数及び融資額 生産資機材取扱い量及び取扱額 農民協同組合収支 水利組合収支 	<ul style="list-style-type: none"> 水利組合の記録 農家聞き取り調査 農家聞き取り調査 農民協同組合の記録 水利組合の記録／農家聞き取り調査 農民協同組合・水利組合の登録記録 水利組合記録及び農家聞き取り調査 農民協同組合記録 農民協同組合記録 農民協同組合会計記録 水利組合会計記録 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送システムを含む既存の野菜流通システムが大幅に変化しない。 農業試験研究機関が業務を継続する。
活動 1-1 灌漑施設を整備する。 1-2 関係する試験研究機関との連携を構築する。 1-3 農民野外学校を展示圃場と併せて運営し、農民グループに対して生産技術訓練を行う。 2-1 野菜生産物集出荷施設を整備する。 2-2 市場ニーズに基づく作付け計画策定に係る農民グループ訓練を民間部門を巻き込んで行う。 3-1 農民／農民グループを対象に農民協同組合及び水利組合設立に係る訓練を行う。 3-2 設立された農民組織に対して各種訓練を提供する： 3.2.1 灌漑施設の維持管理 3.2.2 農業生産資機材の共同購入 3.2.3 野菜生産物の共同集出荷 3.2.4 生産物収穫後処理 3.2.5 農民金融取扱い 3.2.6 農民組織運営	投入（本モデル地区対象） 1. 人材 ・村落調整員：167M/M (Rp. 324 百万) 2. 施設 ・灌漑施設整備：80 ha (Rp. 426 百万) ・集出荷施設整備：8 棟 (Rp. 80 百万) 3. 農民／農民グループ／農業組織訓練・研修 (Rp. 159 百万) 4. 村落調整員訓練 (Rp. 12 百万) 5. プロジェクト運営管理費 (Rp. 100 百万) 合計投入額：Rp. 1, 101 百万	（全地区対象） 1. 人材 ・外部専門家：540M/M (Rp. 25, 290 百万) 2. 施設 ・適応技術試験農場整備：2 ha (Rp. 320 百万) 3. 機材 ・車両：2 台 ・コンピューター：5 台 ・コピー機：1 台 ・タスクチーム用バイク：25 台 (Rp. 425 百万) 4. タスクチーム訓練・研修 (Rp. 471 百万) 5. プロジェクト運営管理費 (Rp. 2, 650 百万) 合計投入額：Rp. 29, 156 百万	<ul style="list-style-type: none"> 関連農業試験研究機関がプロジェクトに協力する。 州、県、郡レベルの関係機関の協力が得られる。 民間部門の協力が得られる。 <p>前提条件</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル地区農民がプロジェクトを受け入れる。 インドネシア国農業省及び西ジャワ州農業事務所が継続してプロジェクトを支援する。

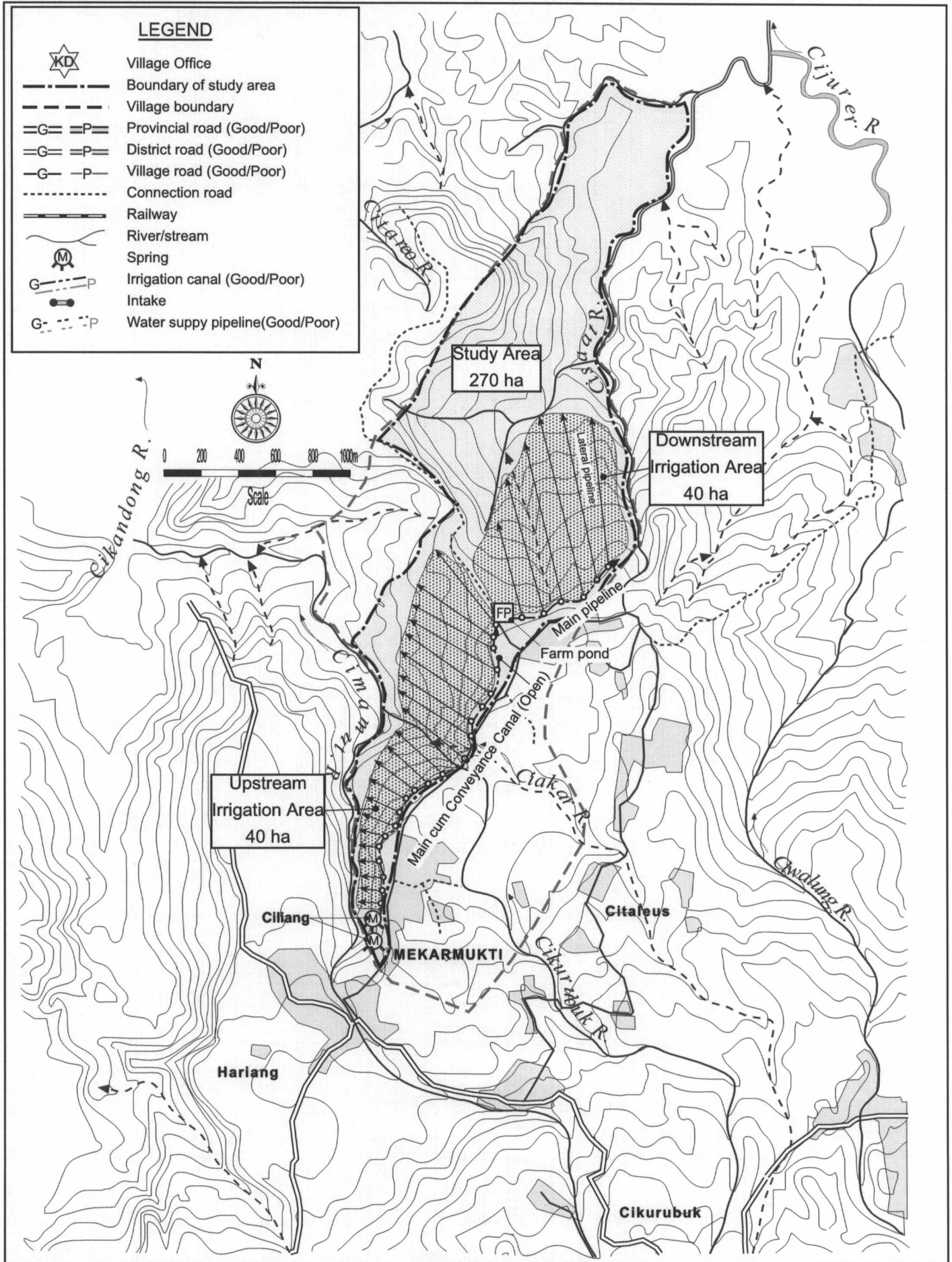


3.3.7 ムカルムクティ・モデル地区農業開発基本計画（PDM）

ターゲットグループ：ムカルムクティ・モデル地区農民（小作農を含む）

プロジェクト期間：5年

プロジェクトの要約	指標	指標への入手手段	外部条件
上位目標 モデル地区の開発モデルが西ジャワ州のハイランド地域に拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> 類似スキームの増加数 	<ul style="list-style-type: none"> 県及び郡の農業事務所 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国農業省の園芸作物振興政策に大幅な変更がない。
プロジェクト目標 野菜生産の安定化を通じて農民の所得及び生活水準が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 農家所得増加率（GDP デフレーターを用いて調整する。） 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトモニタリング活動における農家聞き取り調査 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国の経済状況が急激に変化しない。
成果 1. 野菜生産システムが改善する。 1-1 灌漑水が供給される。 1-2 野菜栽培技術に係る試験研究情報が入手される。 1-3 農民の野菜生産技術が改善する。 2. 野菜生産物の流通システムが改善する。 2-1 農民の集出荷活動が向上する。 2-2 市場ニーズに基づく作付け計画が策定される。 3. 農民組織の農業開発活動が活性化する。 3-1 農民グループが灌漑システムの中に再編成される。 3-2 野菜生産計画策定、村落施設維持管理、生産物販売、生産資材供給及び生産資金貸付けにおける農民組織の能力が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作付け率 品目別野菜単位収量 生産資材投入量 野菜共同出荷量及び出荷価格 作付け体系の変化 農民協同組合・水利組合の登録組織員数及び登録日 計画作付け体系及び実際の作付け体系 農民金融利用者数及び融資額 生産資機材取扱い量及び取扱額 農民協同組合収支 水利組合収支 	<ul style="list-style-type: none"> 水利組合の記録 農家聞き取り調査 農家聞き取り調査 農民協同組合の記録 水利組合の記録／農家聞き取り調査 農民協同組合・水利組合の登録記録 水利組合記録及び農家聞き取り調査 農民協同組合記録 農民協同組合記録 農民協同組合会計記録 水利組合会計記録 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送システムを含む既存の野菜流通システムが大幅に変化しない。 農業試験研究機関が業務を継続する。
活動 1-1 灌漑施設を整備する。 1-2 関係する試験研究機関との連携を構築する。 1-3 農民野外学校を展示圃場と併せて運営し、農民グループに対して生産技術訓練を行う。 2-1 野菜生産物集出荷施設を整備する。 2-2 市場ニーズに基づく作付け計画策定に係る農民グループ訓練を民間部門を巻き込んで行う。 3-1 農民／農民グループを対象に農民協同組合及び水利組合設立に係る訓練を行う。 3-2 設立された農民組織に対して各種訓練を提供する： 3.2.1 灌漑施設の維持管理 3.2.2 農業生産資機材の共同購入 3.2.3 野菜生産物の共同集出荷 3.2.4 生産物収穫後処理 3.2.5 農民金融取扱い 3.2.6 農民組織運営	投入（本モデル地区対象） 1. 人材 ・村落調整員：216M/M (Rp. 432 百万) 2. 施設 ・灌漑施設整備：80 ha (Rp. 872 百万) ・集出荷施設整備：8 棟 (Rp. 80 百万) 3. 農民／農民グループ／農業組織訓練・研修 (Rp. 201 百万) 4. 村落調整員訓練 (Rp. 13 百万) 5. プロジェクト運営管理費 (Rp. 160 百万) 合計投入額：Rp. 1,758 百万	投入（全地区対象） 1. 人材 ・外部専門家：540M/M (Rp. 25,290 百万) 2. 施設 ・適応技術試験農場整備：2 ha (Rp. 320 百万) 3. 機材 ・車両：2 台 ・コンピューター：5 台 ・コピー機：1 台 ・タスクチーム用バイク：25 台 (Rp. 425 百万) 4. タスクチーム訓練・研修 (Rp. 471 百万) 5. プロジェクト運営管理費 (Rp. 2,650 百万) 合計投入額：Rp. 29,156 百万	<ul style="list-style-type: none"> 関連農業試験研究機関がプロジェクトに協力する。 州、県、郡レベルの関係機関の協力が得られる。 民間部門の協力が得られる。 前提条件 <ul style="list-style-type: none"> モデル地区農民がプロジェクトを受け入れる。 インドネシア国農業省及び西ジャワ州農業事務所が継続してプロジェクトを支援する。



インドネシア国ハイランド地域農業開発計画調査 国際協力事業団	ムカルムクテイ・モデル地区農業農村開発計画／施設計画
-----------------------------------	----------------------------

3.3.8 チサントナ・モデル地区農業開発基本計画（PDM）

ターゲットグループ：チサントナ・モデル地区農民（小作農を含む）

プロジェクト期間：5年

プロジェクトの要約	指標	指標への入手手段	外部条件
上位目標 モデル地区の開発モデルが西ジャワ州のハイランド地域に拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> 類似スキームの増加数 	<ul style="list-style-type: none"> 県及び郡の農業事務所 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国農業省の園芸作物振興政策に大幅な変更がない。
プロジェクト目標 野菜生産の安定化を通じて農民の所得及び生活水準が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 農家所得増加率（GDP デフレーターを用いて調整する。） 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトモニタリング活動における農家聞き取り調査 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国の経済状況が急激に変化しない。
成果 1. 野菜生産システムが改善する。 1-1 灌漑水が家庭用水と共に供給される。 1-2 野菜栽培技術に係る試験研究情報が入手される。 1-3 農民の野菜生産技術が改善する。 2. 野菜生産物の流通システムが改善する。 2-1 農民の集出荷活動が向上する。 2-2 村落流通システムが改善する。 2-3 市場ニーズに基づく作付け計画が策定される。 3. 農民組織の農業開発活動が活性化する。 3-1 農民グループが灌漑システムの中に再編成される。 3-2 野菜生産計画策定、村落施設維持管理、生産物販売、生産資材供給及び生産資金貸付けにおける農民組織の能力が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作付け率／家庭用水利用農家数 品目別野菜単収 生産資材投入量 野菜共同出荷量及び出荷価格 訪問仲買人の人数 作付け体系の変化 農民協同組合・水利組合の登録組織員数及び登録日 計画作付け体系及び実際の作付け体系 農民金融利用者数及び融資額 生産資材取扱い量及び取扱額 農民協同組合収支 水利組合収支 家庭用水供給組合収支 	<ul style="list-style-type: none"> 水利組合及び家庭用水供給組合記録 合記録 農家聞き取り調査 農家聞き取り調査 農民協同組合の記録 農民協同組合からの情報 水利組合の記録／農家聞き取り調査 農民協同組合・水利組合の登録記録 水利組合記録及び農家聞き取り調査 農民協同組合記録 農民協同組合記録 農民協同組合会計記録 水利組合会計記録 家庭用水供給組合記録 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送システムを含む既存の野菜流通システムが大幅に変化しない。 農業試験研究機関が業務を継続する。
活動 1-1 灌漑施設を家庭用水施設と共に整備する。 1-2 関係する試験研究機関との連携を構築する。 1-3 農民野外学校を展示圃場と併せて運営し、農民グループに対して生産技術訓練を行う。 2-1 野菜生産物集出荷施設を整備する。 2-2 村落流通道路を整備する。 2-3 市場ニーズに基づく作付け計画策定に係る農民グループ訓練を民間部門を巻き込んで行う。 3-1 農民／農民グループを対象に農民協同組合及び水利組合設立に係る訓練を行う。 3-2 設立された農民組織に対して各種訓練を提供する： 3.2.1 灌漑施設の維持管理 3.2.2 農業生産資材共同購入 3.2.3 野菜生産物の共同集出荷 3.2.4 生産物収穫後処理 3.2.5 農民金融取扱い 3.2.6 農民組織運営	投入（本モデル地区対象） 1. 人材 ・村落調整員：324M/M (Rp. 648 百万) 2. 施設 ・灌漑施設整備：120 ha (Rp. 937 百万) ・村落流通道路整備：3 km (Rp. 450 百万) ・集出荷施設整備：12 棟 (Rp. 120 百万) 4. 家庭用水供給施設： 500 世帯 (Rp. 250 百万) 農民／農民グループ／農業組織訓練・研修 (Rp. 254 百万) 村落調整員訓練 (Rp. 16 百万) プロジェクト運営管理費 (Rp. 268 百万) 合計投入額：Rp. 2,943 百万	（全地区対象） 1. 人材 ・外部専門家：540M/M (Rp. 25,290 百万) 2. 施設 ・適応技術試験農場整備： 2 ha (Rp. 320 百万) 3. 機材 ・車両：2 台 ・コンピューター：5 台 ・コピー機：1 台 ・タスクチーム用バイク： 25 台 (Rp. 425 百万) 4. タスクチーム訓練・研修 (Rp. 471 百万) 5. プロジェクト運営管理費 (Rp. 2,650 百万) 合計投入額：Rp. 29,156 百万	<ul style="list-style-type: none"> 関連農業試験研究機関がプロジェクトに協力する。 州、県、郡レベルの関係機関の協力が得られる。 民間部門の協力が得られる。 <p>前提条件</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル地区農民がプロジェクトを受け入れる。 インドネシア国農業省及び西ジャワ州農業事務所が継続してプロジェクトを支援する。

